

新沢田町花を愛でる会の今年度の活動について

2025 年 9 月吉日
新沢田町花を愛でる会

9 月も半ばになり朝夕はいくらか涼しくなりましたが、まだまだ熱中症に注意が必要な暑い日がしばらく続きそうです。どうぞご無理のないようご自愛のほどよろしくお願いいたします。愛でる会の立ち上げ時から越年草担当、1 年草担当として中心的な取り組みをしていただいた、大川夫妻が退会されました。長きにわたる活躍に対して感謝いたします。ありがとうございました。

9 月 2 日に臨時役員会を開催しました。異常気象（夏季の高温少雨）が続き、水遣りなどのお世話の負担増が増加している状態において、会員の高齢化と新会員の発掘が進まないことを背景として、今年度の愛でる会の活動について活動停止の選択について議論をしました。議論の結果、**負担軽減対策を講じたくて活動を継続することで全会一致に至りました。**停止していた、物品や資材等の購入を再開する。必要なものがあれば事務局に相談ください。**町内一斉清掃が 9 月 28 日(日)に予定されています。**花壇の草取りに活用して下さい。対策は、以下のとおりです。

1. 仲間を増やそう

会員一人ひとりに声掛けをお願いします。ホームページを定期的に更新しているので、確認してください。

2. 負担を減らすための越年草を増やそう

① ガザニア

これまでのやり方の延長ではなく、ガザニアを種から苗を育て、パイロット花壇で確認しながら、「全体を埋めつくす」、「ふちを埋める」の花壇ごとのメリハリを計画的に実践する。

② 立葵

北側花壇で肥料遣りが過剰にならないようにし、背丈を低くしたため風で倒れることもなくなった。南側にも展開する。

③ 他の越年草

青サルビアなど外国産の多くの花は、越年草である。日本においては、冬季があるために 1 年草として扱われているが、温暖な静岡においては、多くのそうした花が、越年できたと報告されている。た。枯れた後にいくつかの茎を残しておくことにより、時期が来れば芽吹くとされている。撤去時期に残すべきは残す。

3. 負担を減らすために直播きを増やそう 区画担当の裁量範囲の拡大

一年草を減らし、越年草、球根の隙間を埋めることを狙いとする。コスモス、ミニひまわりは、定着したが、ガーベラ、ネモフィラ、サルビアなどに拡大する。大きな不統一

感がなければ、区画担当の裁量範囲を拡大する（これまでは強く統一性を求めている）。
また、紫陽花の剪定についても区画担当の意向を優先する。

4. 負担を減らすために球根草を増やそう

- ① 水仙
道路側への移植がほぼ完了。区画担当者の要望により、新中川の土手から移植する。
- ② チューリップ
直線植えに加えて、モール植えにトライし、見栄えがよかった。花柄摘みの徹底と肥料遣りの実施。区画担当者の要望により、球根を提供する。
- ③ アイリス
土地の状況から花の広がり期待できないことから、区画担当を中心に撤去も含めて対応を検討する。
- ④ その他の球根
区画担当者の要望により、球根を提供する。

5. 負担が少ない（水遣りなどの）一年草の選択と総数減

上記対応に加え、2025 年度冬季の移植は、2 回から 1 回に変更し、総数を半減する。
冬季移植会（見直し案）

移植日	見直し前	見直し後	摘要
11 月 16 日	パンジー 100 株 アリッサム 70 株	なし	
12 月 7 日	パンジー 100 株 ノースポール 50 株	パンジー 100 株 ノースポール 60 株	苗は、駿河ガーデン様から調達予定
合計	320 株	160 株	区画ごとの移植は、移植準備の前に案を会員に提示、区画担当の意見を反映して決定。
1 株当たり単価	90 円	110 円	
金額	28,000 円	17,600 円	

浮いた金額は、種、球根、肥料などの調達に向ける。
なお、移植準備は、11 月 16 日と 23 日に分散して実施を予定する。

- ① 日々草（夏季）、パンジー（冬季）
水遣りなどの負担が少ないことから今後も主戦とする。
- ② ノースポール（冬季）
アリッサムをノースポールに置き換える。大きく成長するので、植える間隔を広くする。また、こぼれ落ちた種から自然発芽して育つことが確認できている（日々草も同様）。
- ③ マリーゴールド（夏季）
水遣りがしやすい北側の区画にモール植えにする（直線植えはやめる）。
自治会経由で配布される苗に限定したい。